

～みんなの笑顔が 輝いた 初めての運動会～

初めての運動会が終わりました。9月後半から、60メートル走、色別リレー、集団演技の練習に一生懸命取り組んできました。緊張した様子もありましたが、一人ひとりが練習の成果を十分に発揮することができました。色別応援、玉入れも、他学年と協力して笑顔いっぱい取り組むことができました。子どもたちの達成感に満ちあふれた笑顔がたくさん見られ、嬉しく思っています。

ご家庭でも、子どもたちのがんばりをたくさん褒めてくださったことと思います。運動会の練習に向けての準備をはじめ、子どもたちを温かく励まし、応援していただき本当にありがとうございました。

～かぞく にっこり だいさくせん！～

道徳科の学習で、「かぞくみんなで～ルンルンルン～」を学習しました。毎日忙しそうにしている家族の姿を見て、自分ができることを進んで手伝おうとする登場人物の気持ちを考えました。家族のために自分ができることを進んで手伝うことで、家族の一員として役に立つ喜びに気づき、自分も家族のために役に立とう！と考えることができました。そこで、この学習だけで終わらず、生活科の学習に結び付けて学習を進めていこうと考えています。

生活科の学習で学ぶこと

○家での生活をみつめよう

- ・家の中の自分や家族の一日の行動を思い起こしたり、家族の行動について調べたりする。
- ・道徳科で学んだことを生かし、家族のために自分ができることを考える。

○かぞく にっこり だいさくせん

- ・自分も家族もにっこりになるために、お手伝いをする計画を立て、家庭で実践する。
- ・家庭で取り組んだことを交流し、さらに家族がにっこりになるために、よりよいお手伝いになるように計画を練り直す。

夏休みに取り組んだお手伝いでは、「うまくできた！」と自信をもって言える子がいた一方、「あまり喜んでもらえなかった。」「失敗してしまった。」という子もいました。夏休みには、お手伝いをする理由が「手伝ってと言われるから。」「しないと怒られるから。」と消極的な理由もありました。この学習を通してお手伝いをする中で、自分も家族もにっこりになることに気づき、これからもお手伝いを続けていこうという意欲を高めていきたいです。また、10月末～冬休みと、お手伝いに繰り返し取り組むことで、自分の成長に気づき、自分は家族の一員であることを実感できるようにしていきたいと考えています。お忙しいところ申し訳ありませんが、ご理解とご協力をお願いしたいです。

ご協力いただきたいこと（詳しくは、取り組むときにお知らせします。）

- ① 10月末ごろに、子どもたちが、「家族の一日の生活」「お手伝いをしてもらえると嬉しいこと」についてインタビューをしますので、お答えください。
- ② お手伝いに取り組んだときには、子どもたちに励ましのコメントや感謝の気持ちを伝えていただけるとありがたいです。
- ③ お手伝いは、最初からうまくできないことが考えられます。どうしたら上手にできるようになるのかを、失敗を通して考えさせたいので、手助けやアドバイスは控えてください。子どもたちから「どうしたらよいか」と自ら尋ねてきたときのみ、お答えください。